

みずほCustomer Desk Report 2026/10/27 号(As of 2026/10/26)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	157.21
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	156.83	1.1217	176.03	1.3377	0.7030
SYD-NY High	157.64	1.1226	176.41	1.3386	0.7039
SYD-NY Low	156.66	1.1174	175.85	1.3326	0.7013
NY 5:00 PM	157.49	1.1174	176.01	1.3343	0.7017
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	52,361.58	146.42	日本2年債	1.8730%	0.0120%
NASDAQ	26,169.38	214.04	日本10年債	2.7820%	▲0.0110%
S&P	7,676.77	53.09	米国2年債	4.7191%	0.0342%
日経平均	62,189.65	▲ 503.51	米国5年債	4.8253%	0.0142%
TOPIX	3,972.98	7.17	米国10年債	4.9894%	▲0.0082%
シゴ日経先物	62,885.00	195.00	独10年債	3.3554%	0.0124%
ロンドンFT	10,767.33	76.97	英10年債	5.3430%	▲0.0172%
DAX	25,410.84	229.19	豪10年債	5.1620%	▲0.0055%
ハンセン指数	23,211.81	118.44	USDJPY 1M Vol	7.79%	0.00%
上海総合	3,697.52	7.04	USDJPY 3M Vol	7.93%	▲0.00%
NY金	4,038.40	30.50	USDJPY 6M Vol	8.19%	▲0.04%
WTI	101.76	▲ 1.51	USDJPY 1M 25RR	▲2.11%	Yen Call Over
CRB指数	414.94	▲ 3.66	EURJPY 3M Vol	7.83%	▲0.06%
ドルインデックス	101.96	0.15	EURJPY 6M Vol	8.10%	▲0.08%

東京	東京時間のドル円は156.83レベルでオープン。日本株の底堅い動きを横目に仲値にかけて買いが強まり、157.22まで上昇。その後失速し、原油安・米金利低下の流れに156.66まで下落。一巡後はやや値を戻し、結局、156.99レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン時間のドル円は156.99レベルでオープンし、156.93から157.49のレンジで推移した後、157.44レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	週明けのNY市場のドル円は、157.44レベルでオープン。本日は主要な米経済指標の発表が予定されていない中、朝方は157.40を挟んだ推移が続いた。その後やや金利が上昇する動きにドル円も157.64まで上昇するが、動意に薄く、その後は157.50付近での推移が続き、157.49レベルでクロスした。一方、ユーロドルは、先週金曜に米大手格付け会社がフランスの格付を据え置いたことから海外市場で1.1226まで戻し、1.1175レベルでオープン。朝方はドル買いが先行し1.1174まで下落するが、その後は1.1197まで戻す。午後に入るとドル買いが優勢となり、ユーロドルは上値を重くし1.1174レベルでクロスした。

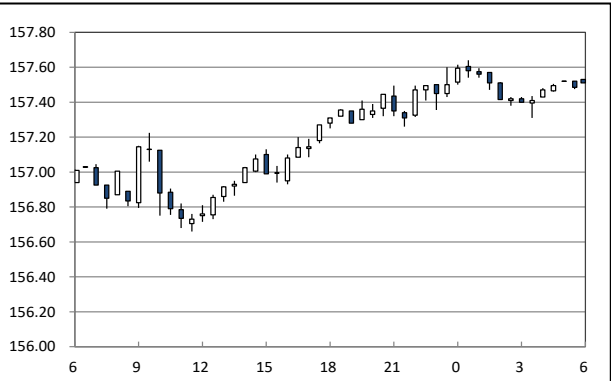
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月26日	18:00	独 IFO企業景況感/現況/期待指数	10月 90.2/88.8/91.6	89.9/89.8/90.0
	21:30	米 シゴ連銀全米活動指数	9月 0.1	-0.1

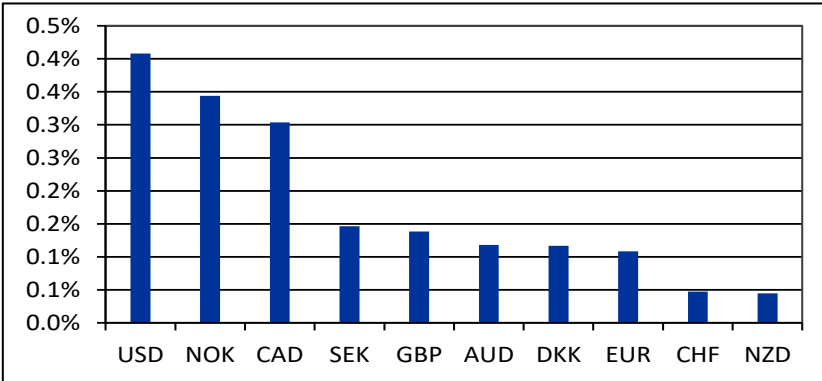
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月27日	21:30	米 耐久財受注(前月比)・速報	9月 1.9%	-0.1%
	21:30	米 耐久財受注(除輸送用機器)・速報	9月 0.6%	0.2%
	23:00	米 コンファレンスボード消費者信頼感	10月 81.0	81.9
	23:00	米 新築住宅販売件数	9月 650.5k	684k
	-	米 FOMC (27-28日)	10月 -	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	156.80-158.00	1.1130-1.1250	175.30 - 176.80

【マーケットインプレッション】

昨日は米AI新興企業のIPOへの期待感からAI関連株が、格下げを免れたことで仏債がそれぞれ買い戻された。茲許、リスクオフ相場の震源となっていた両材料に落ち着きが見られたことで、リスクオフの円買いが剥がれる形となり、ドル円は157円台半ばへ上昇している。一方で、中東諸国がイラン指導部と会談を行い、緊張緩和への期待感にやや高まりが見られることや、明日にFOMCの結果公表が控えることを鑑みると、積極的にドルが買われる地合いでも無いだろう。日米中銀会合、ハイテク大手決算といったイベントを控える中で本日もレンジ内の推移に留まると予想する。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は執筆時点で信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、みずほ銀行及びみずほフィナンシャルグループの統一された見解ではありません。当資料に基づくお客さまの決定、行為、およびその結果について、当行は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。当資料の著作権はみずほ銀行に帰属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。また、ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。